

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	介護についての根本的な考え方は共通出来ているが、理念の文言を把握していない職員が多い。	全職員が理念を問われた時に、迷わず答えられるようになる。	毎月のミーティングを活用し、理念の確認を行う。言葉だけを覚えるのではなく、今まで通り介護に対するお互いの思いを話し合い、理念実現に向けての具体的対応を決めていく。	3ヶ月
2	35	避難誘導時、他ユニットの入居者の状態が全く分からず、誘導に手間取ってしまった。現状では他ユニットの入居者について名前も顔も知らないという状況で、職員が緊急時の対応に不安を感じている。	他ユニット入居者の名前・顔・移動方法を把握しておく。また、それらの情報を確認できる資料を常に更新しながら各ユニットに配置しておく。	他ユニット入居者の写真付きの資料を作成し、各ユニットの決められた場所へ置いておく。職員は日頃からそれに目を通して、各自情報収集に努める。行事は両ユニット共同で行うことで、他ユニット入居者と関わる機会を設ける。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。